

「瑞穂小だより」

令和7年9月29日
令和7年度 第12号 電子
伊丹市立瑞穂小学校 校長室

＜学校教育目標＞『「いのち」かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～』
～あしたも来たいと思える学校～

「人権教育授業参観・講演会」のご参加ありがとうございました ～たくさんのみなさまと共に歩める社会を目指して～



今回の人権教育は、ハンディキャップのある方への理解を深める学びにチャレンジしました。担任の先生は、夏休み中も資料作りや指導方法の研究に熱心に取り組んでくれました。子どもたちには、自分と友達も含めた幸福を考えられる人になって欲しいと願っています。

私自身は、人権学習は何か難しそうに感じて心が少し引いてしまう場合もありました。それでも学び続けていく中で、**相手の気持ちを考えて、行動できること人が増えれば、「みんなが笑顔になれる！幸せな社会になれる！！」**と思いました。

今回の授業参観では、子どもたちは保護者の皆様に見守られて、優しい心が溢れていました。

授業後に「人権教育講演会」も行いました。講師の**伊藤真波**さんは元パラリンピック競泳日本代表選手です。テーマは「**あきらめない心**」でした。

講演会には、たくさんの保護者や地域の皆様とともに、パラリンピックを学んだ3年生等の子どもたちも参加して熱心に聴き入っていました。



伊藤さんは、「看護師になる夢」を目指した学生時代に交通事故で右腕を失う大けがを負われました。夢をあきらめずに、大変な苦境との戦いを多くの支えや励ましで乗り越えられ、日本初の「義手を使った看護師」となり、夢を叶えられました。

また、事故に遭ってしまった時や入院中などの率直な心情や、「できない」と言ったら負けだと思い「助けてほしい」が言えなかったこと、誰かに助けてもらわないと何もできない私が看護師になっていいのか不安でいっぱいだったこと等も語っていただきました。

伊藤さんは、伊丹市在住で子育てにも奮闘中です。瑞穂小学校の近くのお店に買い物や食事に来られることもあったと伺いました。ご苦労は多いようですが、「**『できない』と言ったら助けてくれる人がいる**」とのお話が心に残り、そんな瑞穂小学校にしたい！と思いました。

最後に、演奏用の義手を使ってバイオリン演奏も披露してくださり、感動が会場中に広がりました。そして、**世界の皆さんと支え合える社会を作るため、瑞穂の子どもたちが相手のことを考えて行動できる「優しい心」をさらに輝かせていきたい**と思いました。

☆おめでとう 瑞穂っ子! ☆

☆ピティナ・ピアノコンペティション A1級 宝塚予選入選
西日本兵庫2地区 本選入選 本選奨励賞 **2年生**

☆令和7年度 全日本少年少女武道（なぎなた）錬成大会
敢闘賞 小学4年生の部 **4年生**

☆第44回 伊丹少年スポーツ大会 水泳大会 小学生女子
200m個人メドレー 2位 100mバタフライ 3位 **6年生**

吹奏楽部

☆兵庫県吹奏楽コンクール 兵庫県各地から8団体が出場 「金賞」（最優秀）
☆関西小学生バンドフェスティバル ステージパフォーマンズ
関西の各府県からの代表14団体が出場 「金賞」（第3位）

フルート	5年生1名、4年生1名
クラリネット	5年生3名、4年生2名
サクソ	6年生2名、4年生2名
トランペット	6年生2名、4年生1名、3年生1名
ホルン	6年生1名、3年生1名
トロンボーン	6年生1名、5年生1名、4年生1名
ユーフォニアム	6年生1名、5年生1名、
チューバ	5年生2名
パーカッション	6年生2名、5年生1名、4年生2名

瑞穂っ子が、あきらめない心で頑張っている努力が、大きな実りとなりますように心から応援しています